

島根県原子力講演会 2015（浜田会場） 参加者ご意見、ご感想

【ご質問】

Q5 本日の講演会の感想などをご自由にお書きください。

【ご回答】

- ・ソフト面で防災全般におけるヒントをたくさんいただきました。
 - ・防災については理解できた（考え方）が、原子力災害の場合の具体的な対応について、特に受入れについてもう少し聞きたかった。
 - ・対象者が明確で、重要な事がずっと頭に入ってくる、当事者意識がずしっと心に響く講演でした。具体的な例を示しながら話していただけたので、きれいごとではなくいろいろ考えさせられました。ありがとうございました。
 - ・防災のプロと初心者では、今日の講演会の理解度はかなりのひらきがあるのではと感じました。
 - ・18Pの防災力の強化は普段の街づくりから始まる…は心に残る。自主防災部会で紹介しようと思う。
 - ・女性や子供、お年寄りにもわかりやすい講演をしてもらおうと皆さんの理解が広がる・深まると思います。
 - ・助けあいの精神が必要と思う。防災として状況に応じて柔軟な対応をとることが大切と思った。防災力は普段の仲の良さを大切にする必要があると思った。日頃から災害が起こったことを考えた生活を心がけたい。
 - ・原子力事故は福島県の事故で少しわかっていた。浜田市ではピンとこないでも時々参加して勉強したい。色々な災害に通じることだと思う。
 - ・福島の事故以後、県が何かの対策をしたようには思わない。出雲の人を石見に避難？具体的に一度もそのような考えを聞いたことがない。主催された方、自分の在職中事故が起きると考えたことがありますか？講演会を開催することが仕事と思っておられるのではないかと思います。
 - ・講演の中で、P9再発防止に留まりやすい日本の防災のところで事故を防げなかったという話がありました。事前に防ごうとするなら原子力発電は再稼働させない方がよいのではないのでしょうか。この講師の方の内容であったら、原子力での講演会より防災としてのタイトルで講演会を開催した方が良かった。その方が多くの人にそれぞれの立場の人に何を自分がしなくてはならないか理解してもらえと思った。放射線量を知ることができる機械を各地域に設置し、住民全体が知ることが必要と思います。
 - ・どちらかに偏ることなく、論理的な内容でした。
 - ・地球温暖化対策のため、原子力発電が必要なことは理解できますが、使用済み核燃料などの処理方法等が決まらない現状においては、新規設置を認めるべきでなく、耐用年数に達した原子炉から順次廃炉すべきです。
- 今回の講演会の目的が分からなくなりました。原子力防災に対する意識啓発なのか災害全般に対する備えなのか。また様々な機関・立場の人が受講していましたが、それぞれが実際何をすべきなのか抽象的で伝わりにくかったです。
- 原子力防災計画によると浜田市が松江市民 32,500 人を受け入れることになっていますが、32,500 人の市民は実際にどこで避難生活を送るのですか。浜田市内の小・中・高校等の体育館などの公共施設？それとも浜田市民の家へ民泊？
- ・島根県における原子力安全・防災対策についてもっと詳細に説明していただきたい。
 - ・原子力のことでなく、防災への考え方を聞けてよかった。
 - ・「好きでなければ守れない」いい言葉ですね。こんな方向でまとめられるとは思わなかった。
 - ・地域災害の対応に応用が出来る事が多くあったと思います。
 - ・私は実家が松江市にいますのでとても身近な内容に感じました。初めに「島根県における原子力安全・防災対策」において、実際の避難についてなどのお話が聞けたので良かったです。また、安全対策については、再発防止ではなく未然防止が大切だということが印象に残りました。

- ・防災全般の話につながって非常に参考になった。
- ・未然防止に強力に取り組んでほしい。モニタリングポストの増設、公開してほしい浜田へ。
- ・講演内容は自分たちの町にも大変役に立つ内容だったと思います。ありがとうございました。
- ・原子力を考えた事がなかったので普通の防災活動についても大変参考になった。化学的な対処も知りたいです。
- ・参考になるお話をありがとうございました。もう少し写真や実例等をまじえてお話して頂けると分かり易かったと思います。「好きでなければ守れない」→その通りだと思います。
- ・災害発生時、常にマニュアルどおり実施しなくてはならないと思っていたが、少し意識が変わった。マニュアル+ α が必要。 α とは状況に応じて、県民に何が必要なかを常に考えて行動しなければならない難しい判断を防災担当者に求められる。